

重視ポイント① 今の県立博物館が持っている力をしっかりと発揮する

- 現在の収蔵資料（収蔵約30万点）をしっかりと保存し、しっかりとした調査・研究のうえ、しっかりと活用する。

重視ポイント② 県内全域の特徴や強み・山形の多様性を紹介する

- 県内全域の多様性と、共通する特徴（最上川・水の恵みなどの自然環境の豊かさ）を紹介する
- 食文化や農業（果樹園芸）を含む山形の強み、何がすごいかを示すことで、誇りと愛着を育む

重視ポイント③ 誰にとっても訪れやすい、入りやすい、楽しめる博物館とする

- インクルーシブ重視とともに、実際に触れる展示をはじめ、五感使って理解し、体験・体感できることを重視する

重視ポイント④ 本県の将来を担う子どもたちの学びに資する

- 博学連携を重視し、「楽しく学べる」、「教員や親が連れていきたくなる」博物館を目指す。

重視ポイント⑤ 様々な主体との連携の充実を図り、ネットワークの中核を目指す

- 地域の博物館や学校、大学、研究機関、民間事業者など様々な主体との連携を強化することで、県内全体の博物館の活性化への貢献、災害対応の円滑化を目指す。

重視ポイント⑥ 機能性を踏まえた施設構成と持続可能な運営方法を検討する

- 学芸員等の働く者の使い勝手も踏まえた機能的な施設構成や、適切な管理運営方法を検討し、持続可能な博物館運営を目指す。

⇒ 上記の「重視するポイント」を土台に引き続き基本構想を検討